

多文化共生社会の中で生きる私たち ～よりよい街づくりを目指して～

中学校・3年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「共感と連帯感」）

＝【人権感覚育成のための視点】

身近な外国の文化を分析したり、外国人との関わり方について話し合ったりする活動を通して、他者の立場や思いに共感し、共に協力しようと努力できるようにする。

◇関連する個別の人権課題「外国人」

2 関連する教科等について

○社会 公民的分野

内容 A (1) イ (イ) 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現すること

3 人権教育上の視点

(1) 異なる文化や習慣を共感的に理解し、偏見や差別を許さない態度を身に付けている。(価値・態度)

(2) 考えや気持ちを伝え合って、課題について分かり合ったり、解決に向けて協力して取り組んだりすることができる。(技能)

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1

日本に広がる身近な外国の文化を見付ける。グループで、付箋を活用してジャンルごとにまとめる。

○活動2

「自分が外国に行ったとき」と「外国人が日本に来たとき」について意見交換し、「多文化共生社会」について自分の言葉でまとめる。

2 準備するもの

○まとめ用紙（模造紙）

○ワークシート

○付箋

○黒ペン

3 アクティビティーの進め方

○活動1 「身近な外国の文化を見付けよう」

- ① 3～4人のグループで、日常生活の中で見かける外国の文化について、付箋にできるだけたくさん記入し、まとめ用紙に貼っていく。
- ② 黒板に掲示してグループごとに発表する。

○活動2 「外国人との関わりについて考えよう」

- ① 次の3点についてワークシートに具体的に記入する。
 - ・自分が外国に行ったとき、よいと感じたり困ったりすること。
 - ・外国人が日本に来て、よいと感じたり困ったりすると思うこと。
 - ・二つを比べて気付くこと。
- ② 文化や出身、国籍など多様な人々同士の関わりが多い現代、互いにどのように関わっていくことが大切かについて、グループで意見交換を行う。
- ③ グループごとに、出された意見を発表する。

○活動3 「振り返り」

- ① 今日の学習を振り返り、自分が外国に住んだ時、外国人（現地の人）にどう接してほしいかを考える。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- ここでは外国人との関わりを題材としているが、外国人にとどまらず、誰とでも分け隔てなく協力したり、分かり合ったりする姿勢が大切であることを踏まえて指導にあたる。
- 自国の文化を大切にすることは、他国の文化を認め尊重することにつながる。また、互いの文化が交わることは、さらに豊かな文化の創造につながるので、多文化共生社会では、共感と連帯感が重要であることを意識しながら指導することが大切である。
- 活動2では、外国人との関わりがポイントになるので、話し合い活動がスムーズに進められるように、教師が具体的に特定の国を指定してもよい。
- 活動2での「困ったこと」について、生徒の発言が限定的な内容にとどまる場合に備え、多文化共生に向けての現実の取組や今後対応が予定されている具体例（例：案内表示などの多言語化、多言語に対応した相談事業、学校では外国語のできる指導助手等の配置、日本語習得のための補習など）を資料として準備しておくこと、内容を広げることができる。
- 例えば、外国人と接する機会が想定される修学旅行等の行事の前に実践すると、自他の文化を考えるきっかけにもつながり効果的である。

III 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 生徒の反応例 (S)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 アイスブレイキング「世界に広がる日本文化」</p> <p>T ペアになり、世界で受け入れられている日本の文化には、どんなものがあるのか、互いに発表し合いましょう。</p> <p>S アニメ、和食、柔道。</p> <p>S 意外とたくさんある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで話し合いやすい雰囲気づくりに努める。 ・なぜ人気があるのか、その理由まで掘り下げて発表し合えるように指示する。 ・互いの意見をしっかりと聞き、相手の発表を否定しないように指導する。
35分	<p style="text-align: center;">共生社会の中で、私たちができることを考えよう</p> <p>2 身近な外国の文化の分析</p> <p>T 今現在、日本の中に外国の文化がどんどん入ってきています。例えば、〇〇があります。他には、どんなものがありますか？</p> <p>S 外国料理。有名ブランド企業。</p> <p>S 映画。音楽。スポーツ。</p> <p>T グループごとに付箋と黒ペン、まとめ用紙を活用して、似た意見をジャンルごとにまとめましょう。</p> <p>3 外国人との関わりについての協議</p> <p>T 次の点についてワークシートに自分の考えを記入しましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q自分が外国に行ったとき、よいと感じたり困ったりするものは何ですか。</p> <p>Q外国人が日本に来て、よいと感じたり困ったりすると思うものは何ですか。</p> </div> <p>S 言葉が通じない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が、活動のための具体例をイラストや写真で示し、生徒の関心を高めさせる。 ・クラスの現状を踏まえてグループをつくる。(3～4名程度) ・グループごとに司会・記録・発表者を分担させるとともに、まとめ用紙に記入しながら内容を共有できるように助言する。 <p>◎文化の共通点や相違点について、共感的に理解できるように、ALTなど身近な外国人を想像するよう助言する。(価値・態度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの実体験をふまえて記入できるように助言する。

	<p>S 仕事に制限がある。</p> <p>T 二つを比べて気付いたことはありますか。</p> <p>S よいと感じることや困ることは、日本人も外国人も同じ。</p> <p>T 次のことについて、グループで意見交換をしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Q 文化や出身、国籍など多様な人々同士の関わりが多い現代社会において、互いにどのように関わっていくことが大切でしょうか。</p> </div> <p>T 話合いで出た意見は、模造紙にまとめ、発表者も決めてください。</p> <p>T グループごとに発表をしましょう。</p> <p>S 違いだけでなく、共通点に着目して、互いに協力する。</p> <p>S こちらから声を掛ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共通点が多いこと気付かせ、日本での外国人の困惑に共感させる。 <p>◎自分のこととして現実的に考えられるように、「学校で」や「街で」など、具体的な場面を想定して考えるよう助言する。(技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質より量を重視し、互いの意見を否定せずに、様々な意見を出すよう助言する。 ・ より多くの意見が出やすいように、ブレインストーミングの手法で付箋に意見を書かせてもよい。 ・ 他のグループの意見で共感できるものがあれば、メモをとるように指導する。
<p>10分</p>	<p>4 まとめ</p> <p>T 今日の授業を受けて、「多文化共生社会」とは、どのようなものですか？ 自分の言葉でまとめましょう。</p> <p>S 多くの文化があり、その中で、共によりよい生活を送っていける社会のこと。</p> <p>S 互いの違いを認め合い、文化を尊重し合う社会のこと。</p> <p>5 振り返り</p> <p>T あなたが、外国に住んだ時、外国人（現地の人）にどう接してほしいか、ワークシートの最後に記入しましょう。</p> <p>S 分からない時に、丁寧に教えてもらいたい。</p> <p>S 一緒に協力してもらいたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる語句の意味を書かせるのではなく、なぜ多様性を認め合うとよい社会になるのかという視点にもふれるように指導する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートへの記入を参考に、意図的に何人か生徒に発表させることで、意見の共有を図る。 ・ 特にここまで出ていなかった内容があれば強調し、自分がしてほしいこと、相手にできるとよいことを全体で確認する。

第1章 理論編
 第2章 事例編
 人間の尊厳
 生命尊重
 自己尊重の感情
 共感と連帯感
 公平・公正
 多様性の尊重・共生
 コミュニケーション
 権利と責任
 参加・参画
 第3章 資料編

IV 資料

(1) まとめ用紙 (模造紙にグループで出た意見をまとめる)

<活動1のまとめ用紙 例> ※ジャンルごとにまとめられるとさらによい。

身近な外国の文化を見つけよう！ () 班

<p>例<生活・暮らし></p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">外国料理</td> <td style="padding: 5px;">有名ブランド企業</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 10px;">付箋は分かるように にどんどん貼っていく。</p>	外国料理	有名ブランド企業	<p>例<政治・経済></p> <p style="margin-top: 20px;">グループで出た意見をもとに、似た意見でジャンル分けをしてまとめる。</p>
外国料理	有名ブランド企業		

<活動2のまとめ用紙>

Q 自分が外国に行ったとき、よいと感じたり困ったりすることは何ですか。	Q 外国人が日本に来て、よいと感じたり困ったりすると思うことは何ですか。	Q 左の二つを比べて、気付くことは何ですか。
Q 文化や出身、国籍など多様な人々同士の関わりが多い現代社会において、互いにどのように関わっていくことが大切でしょうか。		

(2) ワークシート

多文化共生社会の中で生きる私たち

～よりよい街づくりを目指して～

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

Q自分が外国に行ったとき、よいと感じたり困ったりすることは何ですか。	Q左の二つを比べて、気付くことは何ですか。
Q外国人が日本に来て、よいと感じたり困ったりすると思うことは何ですか。	
Q文化や出身、国籍など多様な人々同士の関わりが多い現代社会において、互いにどのように関わっていくことが大切でしょうか。	
<個人の意見>	
<グループの意見>	

☆多文化共生社会とは、

社会のことである。

☆あなたが、日本と異なる言葉、文化、習慣がある外国に住んだ時、外国人（現地の人）にどう接してほしいですか。